

## サッカーにおけるグループ戦術学習

—フライングディスクを用いて—

世 羅 晶 子

本来、ボール運動での究極の目標は勝つことである。勝つためには、戦術が必要である。授業において戦術学習を行うことにより、ゲームを評価する観点がはっきりし、チームの課題が分かりやすく、次時への学習につなげやすいと考える。

本研究は、高II女子サッカーの授業において、グループ戦術学習に主眼をおき、戦術学習によりゲームの様相やプレーヤーの意識の変容がみられたかを検証するものである。

### はじめに

2001年現在、全世界で約2億5000万人がサッカーをプレーしている。ファンの数はその5倍。合わせると15億人、世界の全人口の約4分の1となり、人気の高さをあらわしている。日本においても、2002年には日韓共催のワールドカップが行われ、これまでにないぐらいの熱狂ぶりを見せるなど、人気は根強いものになってきた。

女子サッカーをみてみると、日本において幕開けと言われるのは、日本サッカー協会が女子チームの登録を認めた1979年であり、歴史が浅いことが分かる。その後Lリーグの発足や4回連続ワールドカップ出場などから徐々に認知度を高め、広島県においてもチーム登録している女子サッカーチーム数が24となり、競技人口は増えていっているが、男子に比べて注目度は高いとは言いがたい状況にある。また、バレーボールやバスケットボールなど他の種目に比べて、女子にとってサッカーをする機会はまだまだ少なく、部活動においても広島県の高校で女子サッカー部があるところは現在6校しかない。女子でも男子と同じようにサッカーができると考えると、サッカーの門戸を広げる必要があると考えられる。従って本校では、男子に比べると少ないが、中1(男女共習)、中2、高1でサッカーの授業を行い、男女の区別なくサッカーをする機会を作ってきた。

このような状況にある女子サッカーであるが、学校体育におけるサッカーの授業の展開の仕方、戦術学習について、今年度の選択制授業の高II女子で実践した授業を通して考えてみたい。

### 1. 生徒の実態

サッカーの大きな特徴は、手を使わないことである。つまり、どちらか一方の足でボディバランスをとり、もう一方の足でボールを扱うスポーツということになる。二足歩行の人間が一本足で立つ機会は日常生活にはほとんどなく、また視覚から遠く離れた足でものを扱うこともほとんどない。ましてサッカーの経験の少ない女子にとって、一番使いやすい手を使わず、足でボールを自在に操作することは非常に難しいと考えられる。ゲームになると、ボールと自分の関係だけに注目し、ボールのあるところにプレーヤーが集中するという状況がよく見られる。また、パスが来たら慌てて、目的がないままに蹴るという場面も多い。

また、サッカーを選択した高II女子22名の生徒に調査を行い、サッカーについてのどのような捉え方をしているかを表1に示した。なお、この調査は10時間目の雨天時に行ったものである。

表1 [サッカーの授業をするにあたって]

○サッカーを選択した理由は何ですか？	
・屋外で走りまわるのが好きだから	4
・昨年のワールドカップ以来サッカーを観る機会が増えて興味をもったから	4
・あまり詳しくやったことがないから	2
・楽しそうだから	2
・サッカーが好きだから	2
・W杯や、日本人選手の海外での活躍や、外国人選手の人気などで、日本はサッカーブームとなっている。そのサッカーを自分も体中で体験してみたかったから	2
・サッカー選手がかっこいいから	1
・カーンを目指すから	1
・チームプレーが楽しいから	1

- ・メンバーが良さそうだったから…………… 1
- ・小さいころよく道路や公園でサッカーをしていたから 1
- ・日本の女子サッカーを救うため…………… 1
- ・高1のとき初めてサッカーをして面白いと思ったから …… 1
- ・男子主流のスポーツであるサッカーに女子である自分もふれてみたいと思ったから…………… 1

○サッカーの魅力とは？

- ・広い範囲を走りまわる競技であること…………… 6
- ・11人という大勢で一致団結してプレーすること …… 3
- ・1対1でフェイントをかけて相手をぬいた瞬間 …… 3
- ・思い切り蹴ることでスカッとすること…………… 3
- ・全体で1点とるかそれとれないかの中で、どうやってその点をとるか。そのための作戦を考えること…………… 2
- ・バスケやバレーなどと違って点が入りにくいので、1点1点の重みが大きく、ゴールした瞬間の興奮はたまらない …… 2
- ・パスをつないでぐんぐん行くところ…………… 2
- ・かっこよさ…………… 2
- ・小さいボールを足で扱うこと…………… 2
- ・相手のパスをカットして速攻がきまったとき…………… 1
- ・ボールを蹴る姿…………… 1
- ・ゴールが大きくて、点が入りそう…………… 1
- ・練習すればするほど上手になる…………… 1
- ・技術がなくてもできそう…………… 1
- ・野球では感じられない本当の意味でのチームプレーのように見える…………… 1
- ・チーム全体と個人の両方の戦術が大事というところ… 1
- ・ポジションがあるとはいえ、広い中を走り回り、よい意味での自由さも持っているところ…………… 1
- ・ボールが黒と白で交互にできているところ…………… 1
- ・人類が土を踏んできた足でボールを進めるところ …… 1

○サッカーをしてみても難しいなと思うことは何ですか？

- ・ボールのコントロール…………… 7  
(思ったところにパス・シュートできない)
- ・ボールを足で扱うこと(手が使えない)…………… 6
- ・足元ばかり注意してきているため、まわりを見ながらのプレーができない…………… 4
- ・ディフェンスをかかわすこと…………… 3
- ・ドリブル…………… 2
- ・フェイントをゲーム中に実践すること…………… 2
- ・パスがうまくつながらないこと…………… 1
- ・パスコースがうまく見つからないとき…………… 1
- ・蹴ると足が痛い…………… 1
- ・なかなかかっこよきまらない…………… 1
- ・コーナーキック…………… 1
- ・走るのが疲れる…………… 1

○こんなプレーをしてみたい!! というものはどんなプレーですか？

- ・たくみなドリブルで何人も抜くこと…………… 9
- ・ヘディングシュート…………… 3

- ・1対1でディフェンスを抜いてシュート…………… 2
- ・ハットトリック…………… 2
- ・コーナーキックにヘディングで合わせてシュート …… 2
- ・セットプレーが何か一つでもできたらいい…………… 1
- ・正確なパスときれいなシュート…………… 1
- ・キーパーで無失点をめざす…………… 1
- ・アクロバットなプレーをしたい…………… 1
- ・コーナーキックでそのままゴール(カーブするキックをする)…………… 1
- ・1試合に3アシスト…………… 1
- ・ナイスアシスト・ナイスシュート…………… 1
- ・ループシュートとかさまざまなシュート…………… 1
- ・空中にあるボールを蹴る…………… 1
- ・ミドルシュート…………… 1

○サッカーは女性にも門戸が開かれていると考えますか？ その理由は何ですか？

☆開かれてきている 10

- ・女子のサッカー人口が増えているということから(少しずつ)。
- ・妹がやっている。
- ・少しだけ自分もやっていた。
- ・この前、ユニバーシアードで女子のサッカーをやっていた。でも、まだ女子のサッカーに興味関心が低いを感じる。
- ・女子のサッカーチームができていて、リーグをしているらしいので。
- ・やりたいと思う人が増えていると思う。
- ・友達が中学の時に一人だけ男の子にまじって公式戦でプレーしていた。
- ・女子・男子両方できると思う。
- ・Jリーグのこともニュースでよく聞くようになった。

☆開かれていない 8

- ・この中学校に入ったときにクラブがなく、入れなかった。
- ・多くの学校でクラブがない。
- ・男子サッカーほど盛り上がらない。宣伝不足。
- ・テレビ中継があまりされないし、サッカー番組(スーパーサッカーとか)でもあまり大きく取り上げられていないと思う。
- ・ボーダフォンのCMでも、ベッカムがいなかったら、女の子はずっとサッカーをすることができなかったと思う。
- ・サッカーは男子がするものという固定観念がある。
- ・女子サッカーをあまり観たことがない。細かい動きは女の子ができそう。
- ・Jリーグには女の人がいない。

☆分からない 4

## 2. 学習計画

表1の調査から、高IIの女子にとってのサッカー

の魅力は、なかなかかかが入らないという特性の中で、作戦を考え一致団結しプレーすることととらえられる。それを目指しながらも、難しさを感じているのは、ボールを足で扱うこと、まわりを見ながらプレーすること、パスコースを見つけることなどである。

このような生徒の実態をふまえ、個人戦術やグループ戦術の学習を計画した。

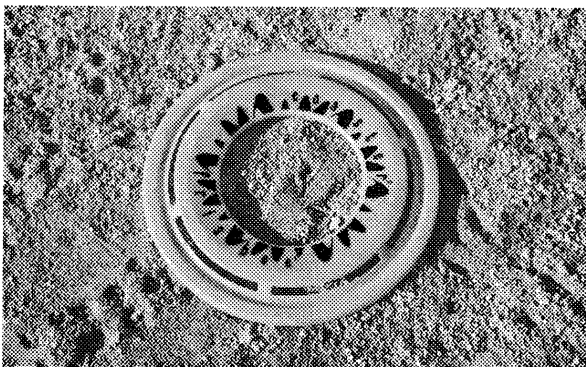
まず、ボールタッチやトラップ、キックなどボールを操作する個人技術の練習を行うことにする。次に、攻撃の個人戦術では、ボールを持って、自由になることができるオープンスペースをうまく利用することを狙いとして、ドリブルで抜くか、パスをするかの状況判断を求めていく。

こうした学習を展開する中で、個人技術・個人戦術に課題があることを確認させ、12時間目からは、グループ戦術に主眼をおき、攻撃において数的優位に着目させる。ボールがあるところに集中しないよう、ボールを持っている人とボールを持っていない人の位置関係を、オープンスペースをうまく利用するという観点で考えさせ、目的をもって蹴るようにさせたい。そのためには、からだの向きを考え、ルックアップして、コミュニケーションをとりながらプレーすることを意識させる。またグループ戦術をもたせることによって、ゲームを評価する観点がはっきりし、チーム課題が分かりやすく次時への学習につながりやすいと考える。

これらを受け、オープンスペースをうまく利用する手立てとして、①教具の工夫②ルールを工夫を行うこととする。

#### ①教具の工夫

今回は、グループ戦術を考えさせるきっかけづくりとして、フライングディスクを使用する。フライングディスクでのゲームは、ハンドパスゲームと同じように手で扱うことができる。手で扱うことは、視覚から離れた足で蹴るより、ルックアップしやすく操作が簡単で、ボールに比べてよく飛ぶため、オープンスペースへのリードパスが期待できる。



フライングディスク

#### ②ルールの工夫 (フライングディスク)

- 1チーム5人制
- ゴールはハンドボールゴールを使う。
- コート大きさはハンドボールコート (横20m×縦40m)
- フライングディスクを持ったまま移動することはできない。
- フライングディスクが地面に落ちたら、相手チームのものとなる。
- 相手がフライングディスクを保持している状態で、奪うことはできない。
- ゴールにシュートが決まったら1点。

キャッチをした地点から移動できないというルールを加えることにより、パスをもらうときに、からだの向きを考えさせることができる。

これら2つの工夫を用い、次のような学習指導案を立ててみた。

#### 保健体育科学習指導案

(1) 学年・組 高II選択 女子 22名

(2) 単元 サッカー

(3) 目標

- ① サッカーの特性を理解するとともに、基本的な個人技術やグループ戦術を習得し、ゲームの中で活かすことができる。
- ② 個人やグループの課題を的確に分析し、課題解決に向けた練習を工夫することができる。
- ③ 安全に留意しながら、協力して練習やゲームができる。

(4) 指導計画 (全22時間)

- |            |                    |
|------------|--------------------|
| 第1次 (1時間)  | オリエンテーション          |
| 第2次 (10時間) | 個人技術・個人戦術          |
| 第3次 (8時間)  | グループ戦術<br>(本時は6/8) |
| 第4次 (3時間)  | ゲーム                |

(5) 本時の目標

- ① 攻撃においての2人のグループ戦術を学び、自分と相手との関係を考えながら、自由になる空間を見つけシュートまでもっていくことができる。
- ② ゲームにおいて、グループ戦術を活かしたプレーができる。
- ③ チームで協力して活動することができる。

(6) 学習過程

学 習 活 動	指導上の留意点
<導入> ○集合 ○学習内容の確認 ○準備運動	・健康観察・見学生徒の指導 ・めあてを持つことができたか。
<展開> ○条件づけられたゲーム(フライングディスクを使ったゲーム) ○グループ戦術の課題の確認を行う ○グループ戦術の練習を行う 2対0 2対1 ○まとめのゲーム	・ゴールするために、目的をもってプレーしているか。 ・課題化しようとしているか。 ・オープンスペースをうまく利用しようとしているか。 ・これまでに学習した技術、戦術を活かしているか。
<まとめ> ○本時のめあてを振り返る ○次時へのめあてをもつ ○整理運動・片付け	・本時の目標を達成し、次時のめあてをもつことができたか。

のように、Aは、パスを受ける前に、相手より、ゴールに近く自由になれるスペースがあるという優位な状況を作り出すことを目標に練習をした。

Aは、図1のように広がることにより、プレーするスペースが確保される。

そして、ボール保持者Bと攻撃方向を同時に視野に入れることができるポジションをとり、どこでパスを受けるべきか判断する。このとき、広がるということを実感させるために、タッチラインから10mのところ両サイドにラインひき、それより外まで開くという目安とした。

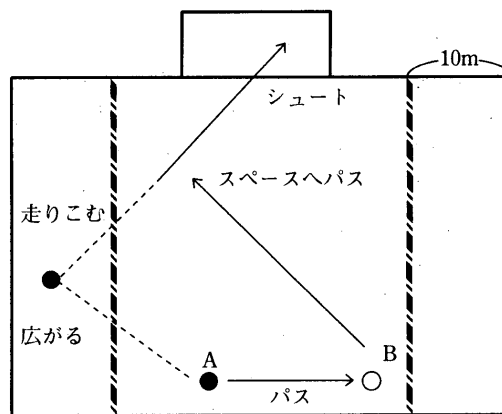


図 1

3. 授業の実際

本時の授業は、(1)フライングディスクを使ったゲームと、(2)そこで課題化された内容を活かしたグループ戦術の練習を行い、(3)最後にグループ戦術を行いやすくするための条件を加えゲームを行った。

(1)フライングディスクを使ったゲーム

2. ②ルールでフライングディスクでのゲームを行い、どんなプレーが出てきたかを考えさせた。サッカーの時には見られなかったオープンスペースへの縦パスがあらわれたことがあげられ、本時の課題となった。



フライングディスクを使ったゲーム

(2)課題化された内容を活かしたグループ戦術の練習

(1)での課題をうけ2対0, 2対1を行った。図1

(3)まとめのゲーム

(1)(2)で行ったことを活かし、まとめのゲームを行った。パスコースを見つける余裕をもたせるため、保持しているボールは奪いにいかないという条件を加えた。このことで、よくまわりを見ることができ、グループ戦術を活かすことができた。

また、ゲームを振り返る手立てとして、毎回、ボールの行方(図2)とパスの行方(図3)のカードを使用した。ゲームをしていないチームが記入し、それを振り返ることで、グループ戦術を確認し自分たちのチームの課題を明らかにしている。

ボールの行方のカードは、自分たちの保持しているボールの軌跡をあらわすものである。(相手チームがボールを保持している間は記入しない。)

これを分析することにより、自分たちのグループのフロアバランスやパスのつながりを読みとることができる。

パスの行方のカードは、誰から誰にパスがされているかをあらわすものである。パスのかたよりが分かり、パスをもらってない人は、パスを出してもらいやすいオープンスペースへ動くなど分析ができる。

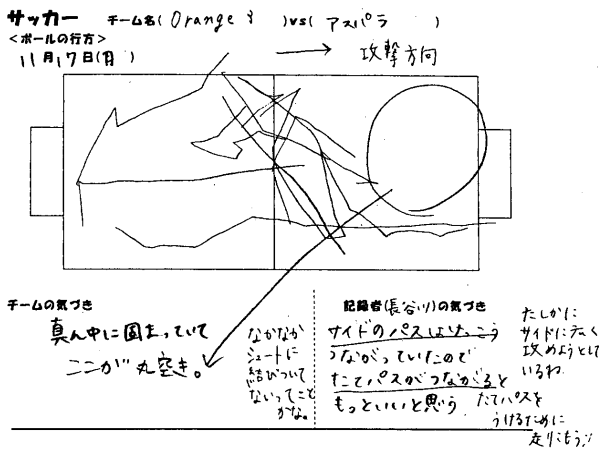


図2 ボールの行方

サッカー チーム名(Orange 3)

<パスの行方>  
(11月19日(水))

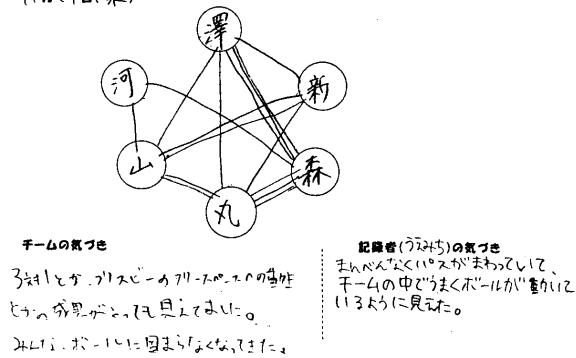


図3 パスの行方

#### 4. 考察

フライングディスクの使用について、表2を見ると22人中21人の生徒は「面白かった。」と答えている。そして、フライングディスクの学習をすることが、サッカーのゲームにおいて、オープンスペースをうまく利用することに多かれ少なかれ効果が出たと答えている。

パスをつなぐためにどこでパスをもらえばいいか、ルックアップして広がり、オープンスペースを探し、パスコースをつくる。パスする人も、スペースへのリードパスを心がける。このことで、相手よりも有利な状況でパスをつなぐことができてきた。

このように、フライングディスクを使ったゲームや、グループ戦術の学習をすることによって、攻撃において数的優位を意識し、自分と相手との関係を考えながら、自由になる空間を見つけシュートまでもっていくというグループ戦術が、サッカーのゲームのなかでもあらわれるようになった。

#### 5. 成果と課題

フライングディスクを使っでのプレーによって、オープンスペースを利用することの意識づけが容易にでき、グループ戦術学習がこれを軸に進んだ。戦術を考え、工夫し、自分たちでゲームを組み立てることができた。

しかし、フライングディスクのゲームをする場合は、最初に、フライングディスクを飛ばす、キャッチするという技術練習をしておかないと、それだけにとらわれ、オープンスペースの利用まで考えることができない。そのため、ある程度時間をかけなければならない。今回は、全22時間という時間があつたため、このような試みができたが、選択制授業以外の授業では、どのように取り入れていけばよいかを考えていく必要がある。

また、フライングディスクを使った授業を展開して、そのあとサッカーやバスケットボールなどゴール型の球技を行うと、オープンスペースへの動き方に違いがあらわれくるという期待ももてる。単元間の連携をもたせるためにも、どのようにカリキュラムを組み立てていくかも課題である。

#### おわりに

サッカーでは、戦術を確認するために、足ではなく手を使ってパスをまわす「ハンドパスゲーム」という練習方法がある。この応用で、今回ボールの代わりにフライングディスクを使用した。

戦術学習において、生徒が考えやすい状況を作り出すために、いろいろな工夫が必要であると感じた。そのためには、指導者が種目の特性を深く理解しておかなければならない。

また、サッカーという種目を行うことについてだが、やはりサッカーは男子がするものという考えが、今回の授業を行った高II女子の中にもみられた。男女ともにスポーツ文化を享受する権利があると考えると、これまで女子がやることを阻害されてきたサッカーをすることによって、ジェンダーバイアスを取り除く一つのきっかけになるのではないかと考える。男子のスポーツ、女子のスポーツという考えにとらわれず経験できる場を、学校体育の中で作っていきたいと考えている。本校では、実施の時期は違うものの、ほとんど男女一緒に単元を行っているが、カリキュラムの中では、女子はダンス、男子は剣道というように分かれている単元もあり、これらの検討も必要になってくるだろう。

表2 [サッカーの授業を終えて]

○フライングディスクを使ったゲームはどうでしたか？	
・面白い	21
・面白くない	1
・ふつう	0
〈面白いと感じた理由〉	
・サッカーボールより自分の思った方向に飛んでいくので面白かった。	
・パスコースを見つけることが身に付き、実際のゲームで役に立った。	
・サッカーのときより、スペースができた。	
・サッカーボールを使うと下ばかり見てしまうけど、フライングディスクだと前を見ることができるし、飛ぶスピードがゆっくりなので、全力で追いつける。	
・フライングディスクの特徴をもっとよくつかんでそれに応じた作戦を立てて練習すれば、もっと上手に面白いゲームができたと思う。	
・手を使うので、コントロールしやすい。	
・サッカーに通じる部分があって、やりがいがあった。	
・フライングディスクはよく飛ぶので楽しかった。	
・最後ごろはフライングディスクのとぶ方向や落ちてくる(曲がって)ところも読めてきたので、面白かった。	
・予測しないところに飛んだり、もどってきたりするので面白かった。	
・『フライングディスク』という競技があったら、是非やりたい。	
〈面白くないと感じた理由〉	
・フライングディスクの他にやったボールを使って行ったハンドパスゲームの方が楽しかった。	
○フライングディスクは、ボールよりよく飛ぶことから、リードパスを狙って空間へ走り込むことを意識して行いましたが、その成果はありましたか？	
・効果が出た	13
・効果は分からないが意識してできた	9
・効果なし	0
○そのほかフライングディスクでのゲームをすることにより『これができるようになった!』というものがあれば書いてください。	
・まわりを見ることができるようになった。	4
・パスまわしがよくなった。	4
・取った場所から動けないので、パスを出す相手をよく見て、パスコースを見つけるようになった。	3
・スペースを見つける余裕ができた。	2
・前へ前へパスを出せるようになった。	2
・サッカーより広い範囲で走り回ることができた	
・リードパスをキャッチするために走りこむことが大切なのが分かった。	

- ・横だけでなく縦に走れるようになった。
- ・フライングディスクはよく飛ぶので、それを追いかけているうちに、ボールへの執着心が2倍ぐらいに増した。
- ・パスをする時に声を出せるようになった。
- ・次へつなぐパスが素早くなった。
- ・相手を見ること、フェイントすること、アイコンタクトで味方にパスすること、声を出すことなど、フライングディスクをやったことで一気にのびたと思う。

- 今回のサッカーの授業を行ってみての感想や気づき・反省などを書いてください。
- ・自分がボールを持ったときは、まわりを少しずつ見ることができるようになった。 3  
(はじめはやみくもに前に蹴っていることが多かった)
  - ・最後の方になつたら、自分と相手との間のパスコースを意識できるようになった。
  - ・サッカーの面白さは、パスして関係プレーをするものだなと感じるようになった。
  - ・最後にやったゲームが楽しかった。
  - ・飛んできたボールをトラップするのが難しかった。
  - ・狙ったようなシュートができるようになった。
  - ・すごく楽しかった。どんだんうまくなってどんだん楽しくなっていた。もっとやりたい。
  - ・ボールの扱いがまだ下手だと思うけど、サッカーのイメージはつかめたし、サッカーがちょっと好きになった。
  - ・ボールをこわがらずに向かっているようになった。
  - ・走ってさげんで、ストレス解消になった。
  - ・自分からボールをもらいにいけるようになった。
  - ・足で操作するのは難しい。フライングディスクは、前を向いてできるが、ボールをコントロールするためには下をむかないとできなかったので難しかった。
  - ・サッカーは意外とパスが通りにくいことがわかった。でも、パスがつながって、点が入ったときや、アシストできたときはうれしかった。
  - ・最後の方で、チーム内のパスの有無をつけたことで、パスを意識してまわせたことはすごくよかった。それによって、かなり空間を広く使えたし、視野も広げることができた。
  - ・サッカーは“男のスポーツ”というイメージがどうしてもあるけど、女子がやっても楽しい。
  - ・女子でもサッカーが十分できるし、広がってほしいと思う。

#### 〈参考文献〉

- ・苧宿俊文、『フライングディスク』、偕成社、2000年、19。
- ・日本サッカー協会編、『最新サッカー百科大事典』、大修館書店、2002年
- ・湯浅健二、『闘うサッカー理論』、三交社、1995年
- ・山口隆文・齋藤 登、『サッカーの練習プログラム』、大修館書店、2000年